

高年齢労働者の就労支援モデル事業



公益社団法人

新潟県理学療法士会

Niigata Physical Therapy Association

担当者

○中山裕子（副会長・社会職能局長）

佐藤成登志（会長）

郷 貴大（副会長・事務局長）

高鳥 真（副会長・学術局長）

事業名：

高年齢労働者のための転倒・腰痛・膝痛予防

説明：

厚労省において転倒事故予防のキャンペーンが行われており関心が高い。過去に受託した産保センター主催の講演会で腰痛予防は参加者の反応が良好であった。

事業目的：

高齢者の就業・雇用の促進を目的に安全で継続的に就業できるための転倒・腰痛・膝痛予防の身体的な支援を行う。

対象者に対し、座学での講演および個別評価、体操指導を行う。今年度は無料で事業展開することとし、②に記載した対象・業種への広報、営業活動を実施、可能な限り依頼を受け、**事業の周知を図ることを目的**とする。また、**講演スライド、原稿、個別対応の評価、体操内容を作成**、実施する中で修正を行い完成させる。今年度受託した団体へは次年度以降にも事業継続を働きかけ、また、各団体の健康増進、健康経営に罹るおおよその**予算を把握、料金の設定**の参考とする。以上、働く高年齢者の健康に寄与し、各機関と連携することで本会の事業発展を図る。

対象とする職種・業種：

a) シルバー人材センターに登録する会員・その予定者

新潟県内に21か所のセンターあり

【契約前の調整活動】

3月～アポイント取りで電話連絡、当初難航

4月12日：村上地域シルバー人材センター訪問、事業説明実施

6月上旬：チラシを全センターに郵送

7月27日：事業依頼のあった十日町地域シルバー人材センター営業訪問

【契約後の活動予定】

11月2日：十日町地域シルバー人材センター共催にて会員対象の
転倒・腰痛・膝痛予防の講演、体操体験を120名規模で開催予定
(来年度以降も継続要請あり、運動機能評価・個別対応へ展開予定)

日程未定：村上地域シルバー人材センター ヒアリング訪問
具体的なセミナー内容・日程調整進める

日程未定：村上地域シルバー人材センターにて会員対象の講演、体操体験事業

※上記事業の際にアセスメントシートを用いた評価および参加者アンケートを実施

対象とする職種・業種：

b) 産業保健総合支援センターから紹介を受けた企業（・団体）

シルバー人材センターへの営業が難航していたため、他の方向性を検討
産保センターより過去に会員個人が講演の講師を受託していた経緯あり

【契約前の活動】

4月6日：新潟産保センター営業訪問

セミナー講師を受託、チラシでの広報活動の協力依頼し快諾いただいた

5月中旬：チラシを作成、産保センターへ郵送

5～6月：講演資料作成、調整（以降継続中）

6月17日：新発田労働基準協会（新発田市）安全講習会

「転倒・腰痛・膝痛予防の知識と実践」講演および体操体験実施
参加者数57名 会員派遣2名

6月23日：（株）高橋組（十日町市）安全大会

「転倒・腰痛・膝痛予防の知識と実践」講演および体操体験実施
参加者数81名 会員派遣2名
アセスメントシート配布回収 7月上旬集計結を連絡

7月22日：（株）BSNアイネット（新潟市）健康推進事業

「腰痛予防のセルフマネジメント講座」講演および個別対応
講演参加20名程度 個別対応14名 会員派遣5名
アンケート配布回収 8月上旬集計結果を連絡

対象とする職種・業種：

b) 産業保健総合支援センターから紹介を受けた企業（・団体）

【契約後の活動】

8月30日：（株）黒崎白土工業（新発田市）
腰痛予防の講演および体操指導 会員派遣4名

秋ごろ：（株）近藤組（新発田市）
腰痛予防の講演および体操指導 会員派遣4名

秋ごろ：新潟県三条地域振興局（燕市・同じ内容を2回との依頼）
転倒予防の講演および体操指導 100名×2回 会員派遣6名×2回

1月12日：長岡労働基準協会（長岡市）
「転倒・腰痛・膝痛予防の知識と実践」
講演および体操体験 例年70～80名参加 会員派遣4名
安全管理者が参加するセミナーであるため本事業の広報も行う

今年度中にさらに4から5件の受託を目指す

新潟県健康立県支援課の補助金利用の説明

1件につき半額相当、上限10万円の助成金制度あり

担当者にはメールで連絡、助成金活用および当事業の広報について意見交換中



転倒



腰痛



膝痛

転倒・腰痛・膝痛の 心配はありませんか？

理学療法士が
中・高齢者の労働を支えます

- ✓ 「つまずきやすくなった」
- ✓ 「転びそうになった」
- ✓ 「仕事の後や翌日に腰が痛くなる」
- ✓ 「仕事の後や翌日に膝が痛くなる」 など…

こんなお悩みはありませんか？専門家をご支援致します。
お気軽にご相談ください！

お問い合わせ：(公社)新潟県理学療法士会
 新潟市中央区南笹口1-1-38 コープオリンピア笹口303
 TEL：025-250-7660
 E-mail：jimukyoku@nipta.jp
 担当：中山

支援の詳細は裏面へ ▶

チラシを作成
 産保センターへ広報を依頼
 講演等でも配布予定

中・高齢の方が安心・安全に働くことができるために
転倒・腰痛・膝痛予防の専門家である理学療法士が
 ご要望に応じ支援をいたします。

ご提供可能な支援内容(案) ①-⑥のプロセスを想定

	具体的内容(例)
① セミナー開催 (講義形式：20分程度) (参加者数10~15名)	a) 転倒しない身体づくり b) やってみよう 腰痛対策体操 c) やってみよう 膝痛対策体操
② 参加者の簡易的身体機能評価 (1名につき5分程度)	a) バランス, 歩行能力, 姿勢 b) 柔軟性(体幹・股関節), 姿勢, 筋力 c) 柔軟性(膝・股・足関節), 歩行能力, 筋力
③ 個別および集団体操指導 (1名につき5分~10分程度) オリジナルパンフレットを使用	a) バランスアップ体操 部位別体操 b) 身体部位別体操 c) 身体部位別体操
3~6ヶ月間	②で行った項目の再評価
④ 簡易的身体機能再評価 (振り返りセミナー開催も考慮)	再度指導が必要な場合は③の体操指導を行う 問題解決した場合には修了証(例)の授与 また、修了者も含め体操の継続を図るため 業種別体操を加え再指導を行う
⑤ 再度個別および集団指導 (オリジナルパンフレット使用) 修了証発行 セルフケアへ移行	
⑥ フォローアップセミナー もしくは ④, ⑤の繰り返し	

④事業実施内容および計画

a) シルバー人材センター

2022年

2023年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
【契約前の調整活動】																
3月～アポイント取りの電話連絡																
4月12日：村上地域シルバー人材センター営業訪問																
6月上旬：チラシを全センターに郵送																
7月27日：十日町地域シルバー人材センター営業訪問																
【契約後の活動予定】																
11月2日：十日町地域シルバー人材センター 講演、体操体験を120名規模で開催予定																
日程未定：村上地域シルバー人材センター ヒアリング訪問																
日程未定：村上地域シルバー人材センター 講演、体操指導																
																
6～7月： 本事業化に向け説明																

④事業実施内容および計画

b)産業保健総合支援センター

2022年

2023年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
【契約前の活動】																
4月6日：新潟産保センター営業訪問																
5月中旬：チラシを作成、産保センターへ郵送																
5～6月：講演資料作成、調整（以降継続中）																
6月17日：新発田労働基準協会（新発田市） 講演および体操体験実施 参加者数57名 会員派遣2名																
6月23日：（株）高橋組（十日町市） 講演および体操体験実施 参加者数81名 会員派遣2名																
7月22日：（株）BSNアイネット（新潟市） 講演および個別対応 講演参加20名程度 個別対応14名 会員派遣5名																

④事業実施内容および計画

b)産業保健総合支援センター

2022年

2023年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
				【契約後の活動】														
				8月30日：(株)黒崎白土工業(新発田市) 腰痛予防の講演および体操指導 会員派遣4名														
				秋ごろ：(株)近藤組(新発田市) 腰痛予防の講演および体操指導 会員派遣4名														
				秋ごろ：新潟県三条地域振興局 (燕市・同じ内容を2回との依頼) 転倒予防の講演および体操指導 100名×2回 会員派遣6名×2回														
									1月12日：長岡労働基準協会(長岡市) 講演および体操体験 例年70~80名参加 会員派遣4名									
									12~3月：今年度さらに4~5件の受託、開催を目指す									
													6~7月： 本事業化に向け説明					

次年度以降の予定：

- ・次年度は上記事業を有料で実施する。
- ・今年度受託した団体へ事業継続の働きかけを実施する。
- ・新潟産保センターへは引き続き企業の紹介を依頼する。
- ・会員への周知を行い、協力会員を募る。作成した講演資料等を用い、それぞれの地域で事業実施する。